

平成 17 年度事業計画書

(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

平成 17 年度 事務事業の重点目標

指定管理者制度の本格化にあたり、より一層のお客様へのサービス向上と、経費及び人員の更なる効率化を図り、策定される事業団のスポーツ振興計画に基づく、新分野事業への取組みを進める

事業団独自に策定するスポーツ振興計画に基づき、より市民の利用が促進される事業サービスの具体化に着手する。

- 1 「会員制」をより具体化するため、通年スクールを実施し、顧客の安定化を図る。
- 2 策定される振興計画に基づき、利用促進を図るアクションプログラムを具体化する。
- 3 事業サービスの体系化に伴い、効果的な人員配置を進め、より競争力のある高付加価値サービスへの転換を図る。

各施設の管理運営における経費及び人員の更なる効率化を図り、運営体制を強化する。

- 1 各種職員の業務の横断的活用を図る。
- 2 事務の更なる簡素・効率・迅速化を図る。
- 3 各温水プールのより効率的な運営管理の検討を行う。
- 4 各施設の運営体制を強化するため、職場内研修の活性化を図る。
- 5 事業団の事業拡大を図るため、更なる内部資産(人材、財貨、財物、情報)を蓄積し、資産の形成を図る。

新分野事業の拡大や、快適な施設利用に対応するサービスとホスピタリティの向上を図る。

- 1 快適なスポーツ環境を提供する基底として、お客様の安全・衛生の確保を徹底する。
救急対応の研修。内部点検チームの編成
- 2 利用するお客様に、より高い満足度が得られるサービスとホスピタリティを提供する。

平成17年度 事業実施計画

1. 地域スポーツ普及振興事業（講習会、教室等）

寄附行為第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<体育館・プール事業>

各区体育館、プールにおいて市民を対象とした大会、講習会、教室等を実施するとともに、技術の向上を目的とした事業やスポーツに対しての動機付けとなる体験教室を実施する。

(1)大会

厚別区ジュニアバドミントン大会、白石区ミニバレー大会等16大会。

(2)講習会

ア. 体育館

インドアゴルフスクール、エアロビクス、リズム体操、ヨガ、バドミントン、太極拳、テニス、フォークダンス、バトントワリング、卓球、演歌体操等 1,649 講習会。

イ. プール

水泳教室(成人・シルバー・少年少女・幼児・4歳児・親子)、アクアビクス、おはようスイミング、スキューバダイビング、水中ウォーキング、水中エクササイズ等 2,153 講習会。

ウ. 中島公園歩くスキー常設コース

歩くスキー学校(3期3教室)

<エリア移動型事業>

既存施設を利用するだけでなく、バスなどを利用した屋外事業を行い、四季折々の自然環境を活かした健康づくり、親子のふれあい及び世代を超えた参加者相互の親睦交流等の事業を実施する。

ウォーキング果物温泉ツアー、軽登山、ノルディックウォーキング、散策会、ハイキング

<学校体育施設利用事業>

学校開放施設を利用して、地域に密着した事業を積極的に展開する。

かんたんエアロ星置、キッズテニス、お母さんと幼児の体操、短期集中“鉄棒・跳び箱”苦手克服など12教室

<通年型スクール事業>

会員制度導入に向けて、従来の短期・中期の講習会とは異なる、能力開発型、能力向上型の「通年スクール事業」を実施し、受講者の顧客化を図る。(約100スクール)

<施設間合同事業>

日頃、なかなかスポーツを行う機会がない、会社勤めの方々を対象に、体育館閉館後の時間帯を活用して、チーム対抗によるスポーツリーグ戦(フットサル、バスケットボール、バレーボール)を開催し、新たなスポーツイベント参加者を発掘する。

SSPC ナイトスポーツリーグ戦(20 チーム×3 競技×190 試合×2 期)

<地域スポーツ支援、出張事業>

地域スポーツの活性化や市民の日常スポーツ活動の支援を目的とした、地域出張講習会、指導者派遣、地域事業の企画請負及び用具レンタル等の事業を行う。

<冬季スポーツ・レクリエーション振興事業>

北海道における冬の代表的な遊びである雪合戦を通じて、閉じこもりがちな子供達を対象に外遊びの楽しさを体験させると共に、体力づくり、仲間づくり及び集団行動を学ぶ機会の提供等を目的とした事業を推進する。 雪合戦体験講習会、道新杯小学生雪合戦大会の実施。

(収支見込)

収入予定 444,770,000円

所要経費 239,535,000円

2. 地域スポーツ指導者育成事業

寄附行為第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<スポーツ指導者の地域派遣と育成事業>

地域スポーツ指導者を対象とした、ソーシャルワークやグループワーク等のスキルアップを目的とした指導者育成講習会を開催する。(年6回 開催)

また、温水プールにおける水泳指導員の育成に重点を置いた事業を実施する。

(収支見込)

収入予定 197,000円

所要経費 20,958,000円

3. スポーツ行事開催事業

寄附行為第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<主な主催事業>

(1) 第30回札幌マラソン記念大会(平成17年10月2日)

真駒内屋外競技場を発着点として、市内中心部折り返しコースのハーフマラソンと10kmを実施する。また、真駒内公園内で、一般5km(オープン)・中学生・小学生・ファンペア・車イス種目を実施する。

(収支見込)

収入予定 55,130,000円

所要経費 55,130,000円

(2) 第26回札幌国際スキーマラソン大会(平成18年2月12日)

札幌ドームを会場とし、西岡オリンピック記念距離競技場を含む周辺にて、スキーマラソン50km、スキーマラソン25km、歩くスキー10km、5km、3kmを実施する。

(収支見込)

収入予定 35,435,000円

所要経費 35,435,000円

<その他の主催事業>

(1) 第13回バイシクル・エンデューロ(平成17年5月15日)

藤野野外スポーツ交流施設において、一般及び小・中学生を対象にマウンテンバイクのクロスカントリーを実施する。

(2) 花・水・木ウォーク 2005(平成17年7月3日)

健康志向の高揚を受け、年齢等を問わず、誰でも気軽に参加できるウォーキングを通じて、スポーツ実践の動機付けを図るため、白石から北広島市間のサイクリングロードにおいてウォーキング大会を実施する。

(3) 2005クロスカントリーフェスティバル札幌(平成17年7月17日)

白旗山競技場において、小学生以上を対象とし、体力及びマラソン技術の向上を目的に実施する。

(4) 第13回屋内水泳記録会(平成17年11月20日)

サッポロペンタスロン事業の一環として、市民の健康体力づくりを目的に平岸プールにおいて実施する。

(5) 第12回北海道155ミニバレー大会(平成18年1月21・22日)

生涯スポーツとして、技を競いあうとともに心の交流を深め、健康で明るく豊かな暮らしに寄与することを目的に実施する。

(収支見込)

収入予定 3,167,000円

所要経費 5,238,000円

<協力事業>

(1) 第46回札幌市民体育大会総合開会式(平成17年5月8日)

(2) 第77回宮様スキー大会国際競技会(平成18年3月上旬)

4. スポーツ情報提供事業

寄附行為第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) スポーツ情報誌の発行

スポーツライフ応援マガジン「スポーツライフ(sports life)」を年4回 各10,000部を発行する。

(2) 地域スポーツ情報の収集と提供

スポーツ・レクリエーションに関する総合的な情報、指導者サービス情報など、多様な分野の拡大に努め、幅広いスポーツ情報の提供を行う。

地域スポーツ施設ガイドの作成、地域サークルガイドの作成、地域スポーツマップの作成

(3) 当財団ホームページの充実

事業団ホームページを通じての各体育施設利用種目の検索機能、施設案内及び事業案内(各種スポーツ教室、講習会)等のスポーツ情報を充実する。

(収支見込)

収入予定 392,000円

所要経費 4,398,000円

5. 健康体力づくり相談事業

寄附行為第4条第5号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<ヘルスチェック付き健康トレーニング事業>

参加者(中高年者を対象)の身体測定、体力測定に加えて、学識経験者(看護師、栄養士等)による健康アドバイスを交えた健康トレーニング講習会を開催する。

また、地域の町内会やスポーツ組織等の要請に応じて、体力測定付き健康運動講習会を実施する。 地域スポーツ支援、出張事業の中でも取り入れて実施。

(収入見込)

収入予定 1,005,000円

所要経費 385,000円

6. スポーツ行事及び体育施設等管理運営受託事業

寄附行為第4条第6号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<スポーツ行事等受託事業>

(1) 少年少女水泳教室

市内の泳げない3年生から6年生までの小学生を対象に、7月下旬から8月上旬までの8日間、20会場で開催する。

(2) 第28回北海道を歩こう(平成17年9月4日)

真駒内緑小学校を出発し、支笏湖のまでの33kmを完歩することにより、健康に対する意識の高揚と体力の向上を目的に開催する。

(3) 歩くスキー普及事業

歩くスキーの普及・振興を図るため、中島公園内に歩くスキー無料貸出所を開設(平成17年12月下旬から平成18年3月下旬)。

また、白旗山競技場、中島公園、真駒内桜山に各々歩くスキー常設コースを設置。

<学校体育施設開放事業>

| | | |
|----------------|---|-----------------------|
| ア. 体育館開放～285校 | } | 小学校 194校(内自主管理校 110校) |
| | | 中学校 90校 |
| | | 高校 1校(内自主管理校 1校) |
| イ. グラウンド開放～98校 | } | 小学校 44校(内自主管理校 1校) |
| | | 中学校 54校(内自主管理校 1校) |
| ウ. プール開放～203校 | } | 小学校 201校 |
| | | 中学校 2校 |
| エ. 格技室開放～13校 | | [中学校 13校] |

<体育施設管理運営受託事業>

ア. 北区体育館
イ. 東区体育館
ウ. 白石区体育館
エ. 厚別区体育館
オ. 豊平区体育館

カ. 南区体育館
キ. 西区体育館・温水プール
ク. 手稲区体育館
ケ. 清田区体育館・温水プール
コ. 厚別温水プール

サ.豊平公園温水プール
シ.平岸プール
ス.白石温水プール
セ.手稲曙温水プール
ソ.東温水プール
タ.中央体育館
チ.美香保体育館
ツ.月寒体育館

テ.円山総合運動場
ト.コミュニティドーム
ナ.星置スケート場
ニ.宮の沢屋内競技場
ヌ.麻生球場
ネ.白旗山競技場
ノ.中島体育センター
ハ.藤野野外スポーツ交流施設

(収支見込)

収入予定 3,346,029,000円

所要経費 3,346,029,000円

7. 物品販売・貸付業及び飲食店業

寄附行為第4条第7号に掲げる事業は、次の計画により行う。

各施設において、利用者の利便を図るため、下記の事業を行う。

< 物品販売事業 >

(1) 売店営業施設

西区体育館・温水プール、厚別温水プール、白石温水プール、手稲曙温水プール
東温水プール、コミュニティドーム

(2) 自動販売機設置施設

北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、南区体育館
西区体育館・温水プール、手稲区体育館、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール
豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール
美香保体育館、コミュニティドーム、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場、中島体育センター

< 物品貸付事業 >

(1) コインロッカー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、コミュニティド
ーム、白旗山競技場、中島体育センター

(2) ドライヤー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール

(3) パークゴルフ用具貸出施設

コミュニティドーム

< 飲食店業 >

(1) レストラン営業施設

コミュニティドーム

(収支見込)

収入予定 122,804,000円

所要経費 96,947,000円